

\* それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行いなさい。」食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。(ルカ22:19~20)

聖餐式の考え方と形は実にさまざまであるが、原型はイエス・キリストの最後の晩餐にある。さらにそれはユダヤの過越祭の際の食事に由来している。「過越」とは、モーセとイスラエルの民がエジプト脱出する最初の日に、神がイスラエルの民の家から初子を打つという災いから逃れたことを指す。門柱と鴨居に羊の血を塗った家を災いが通り過ぎたという。(出エジプト12章参照) その際に神から示された食事が過ぎ越しの食事である。内容は、種無しパンと雄羊、苦菜であった。

\* 聖餐式の目的は4つ。

(1) 「新しい契約」を覚えるため。イエス・キリストの血により、全ての者に救いの恵みが与えられる。律法を守ることによるのではなく、イエス・キリストを信じることによる救いである。(2) イエス・キリストとの交わりのため。聖餐のパンとブドウ酒をいただくことにより、イエス・キリストの臨在が確かにされる。(3) 教会の交わりと一致のため。教会はイエス・キリストにあって一つ。互いに愛し合うことを示し、神の家族を実感する。(4) 主の再臨を待ち望むため。来たるべき神の国の祝宴の前ぶれを味わう。

\* 聖餐は、イエス・キリストがわたしを覚えて続けて行うようにと命令された大切な儀式。教会は2千年の歴史の中でこれを守り続けてきた。十字架の直前の夜に弟子たちはこの恵みの食卓を囲んだ。主イエスの愛の表れである。私たちは十字架を前にしてその愛を心からの感謝をもって受け、主に従うものでありたい。